

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 03 月 24 日作成)

委員会名	ワークプレイス研究小委員会	主 査 名：谷口 元
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会	委員長名：服部岑生
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	人々の働き方や働く場所が多様化する社会状況に対応して、単にオフィスビルにとどまらず様々な業態の働く場を「ワークプレイス」という概念を用いて、横断的・包括的に研究を展開し、これからの「ワークプレイス」のあり方を提案する目的で研究活動と研究交流を行う。	
委員構成 (委員名(所属))	沖塩壮一郎(東京理科大・宮城大名誉教授)柳澤 忠(名大・名市大名誉教授)嶋村仁志(千葉工大)吉田邦彦(愛知淑徳大)桑原 滋(NTT ファシリティズ)古阪 幸代(富士銀行)仲 隆介(滋賀県立大学)柳父行二(大阪ガス)鯉坂 徹(三菱地所)加藤 達夫(グローバル FM 研究集団)恒川和久(名古屋大)谷口元(名古屋大)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2003 年度予算	135,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	オフィスビル見学会は現地集合、分担した調査等は各メンバーが各地で実施した。また研究協議会の企画立案、資料作成等に必要な討議と情報交換は、全てインターネット上で行い、小委員会として開催したのは研究協議会当日のみの 1 回(9 名)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 1. 各メンバーの分担した研究成果を論文報告集、大会梗概集等へ公表 2. オフィスビル見学会の開催 トヨタ車体デザインオフィス、三重県庁舎、鈴木設備事務所、安倍工業所、新丸ビル、サービスウエア・コーポレーション、豊田通商本社、メナード本社 3. オフィスビルにおけるワーカーの行動調査・レイアウト調査の実施 JR ツインタワー、TOTO 4. 2003 年度研究協議会「情報化は人間の生活空間をどう変えるのか」の企画立案、協議会実行 WG への参加、協議会資料への寄稿・編集に主体的に参画
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初予定していた以上のオフィスを対象に、視察を行うことが出来た。 また、シンポジウムを予定していたが、研究協議会の提案が認められ、東海支部設計計画委員会と協同でワーキングを設置し、実行することが出来た。ただし、事前資料集などは作成したが、マンパワーや資金的問題もあり、研究協議会における発表と討議内容の成果を取りまとめ、公表するなどは行っておらず、その点は今後の課題である。(開催の概要は報告、公表した)
その他評価すべき事項	